

菅原隆文

よねしろ会

市のエネルギー資源、風力発電の方向性

質 能代港に27基目と28基目の風車が完成。ますますふえていく風力発電で、市は何を目指すのか。エネルギー工場誘致、近隣市町や県との協力体制が必要。話し合いはあるのか。

答 地域資源を活用して地域の活性化を図るための産業戦略として、「能代市再生可能エネルギービジョン」を策定した。今後、再生可能エネルギーの先進地化や産業の創出・活性化、災害時の活用等に取り組みたい。また、圏域全体の連携のため、市で立ち上げた研究会に、県や近隣3町からも参加していただき、情報交換等を行っている。

高齢化社会の自然災害、市の今後の対策は

質 豪雨災害被害特定地域、悪土川と鍋良子川の対策は。苦情も多かった昨シーズン、3年連続で寒くて豪雪と予想される今冬の市の除排雪（雪寄せ雪捨て等）の対策は。

答 悪土川については、県で住宅の防水壁の改良や護岸のかさ上げなどを行う予定である。鍋良子川は、土盛りにより河岸を強固にするなどの災害復旧工事を26年3月までに行う。また、除排雪については、除雪車を2台更新したほか、当初から雪捨て場として能代工業団地内や旧天神小学校のグラウンドなどを開設する。

その他の質問事項

- メタンハイドレートの可能性
- 県の結婚支援策と市の計画は
- 齊藤しげのぶ市長の政治姿勢

畠 貞一郎

市民連合

公共事業の安全管理とインフラの老朽化

質 矢島町で11月21日に起きた土砂崩れで、安全管理対策のほか、発注時期等の問題もあるのではないかと考えられるが、市として、今後、公共事業の安全対策等をどのように考えるのか。

答 土木工事共通仕様書には、労働安全衛生法等の関係法令や工事中の安全確保についての指針等により、防災体制の確立等の定めがある。受注者はこれに基づき施工計画書の提出が義務づけられ、安全確保に努めることになっている。市では提出された計画書について確認や指導を行い、工事中の安全確保に努めている。

中心市街地活性化と旧北高跡地利活用

質 旧北高跡地は中心市街地活性化の最後のとりでであり、利活用をどのように考えているのか。また、まちづくりの観点から、現在、工事中だが、医師会病院の移転は考えられないか。

答 旧北高跡地は、市街地中心部の貴重な公用地であり、その利活用が活性化の大きな鍵と考えている。また、同跡地は中心市街地活性化重点区域内にあり、商店街にも隣接していることから、各方面の意見をまちづくりにも生かせるよう検討したい。なお、医師会病院は増改築工事中であり、移転は不可能と考える。

その他の質問事項

- 老朽化したインフラの調査と補修
- イオンと中心市街地活性化の両立
- エネルギーのまち

小林秀彦

日本共産党

米の生産調整の廃止

質 政府は米の生産調整の廃止に踏み出している。農村の現場からは「米価が暴落し、地域農業が崩壊してしまわないか」という不安が広がっている。今後の対策は。

答 市では、全国市長会経済委員会が、農林水産副大臣に要請した「新たな農業政策に関する意見」にある事項について、全国市長会や秋田県市長会と連携し、強く要請していきたい。また、国の政策転換にかかわらず、これまでの本市農業の特徴を生かす施策を充実するため、JAや関係機関と対策を検討したい。

中学校卒業までの医療費無料化

質 小学校卒業までの医療費無料化により、子育て家庭の経済負担が軽減され、保護者からも大変喜ばれている。今度はさらに対象年齢を広げ、中学校卒業までできないか。

答 見直された県の福祉医療制度を活用し、市では平成24年8月診療分から助成対象を未就学児から小学校卒業までに拡大したほか、所得制限基準の引き上げなど制度の拡充を行っている。現行制度を中学校卒業まで拡大した場合、新たに2100万円の財源が必要となることから、現時点では困難と考えている。

その他の質問事項

- 大型七夕
- アオサダ被服事業停止への市の対応
- 鶴形地内の水路の整備